

福中通信 2023

5月号



令和5年5月1日
発行責任者 岡澤 洋

目標を決めて、新学期いいスタートを！

始業式・入学式からはや3週間が過ぎました。みなさん、新学期いいスタートを切ることができていますか。充実した中学校生活を送るための目標設定について、入学式でお話した「大谷翔平選手の目標達成シート」を、ここでもう少し詳しく紹介します。

大谷選手が高校1年生の時に作成したのが、右の「目標達成シート」です。監督の教えにより作成したこのシートは、強い目標(夢)を中心に置き、周囲 9×9 の合計 81 マスに細分化した目標を書き込んだものです。

大谷選手が中心に書いた夢は「8球団からドラフト1位指名」でした。そして、中央の目標(夢)を達成するために必要な要素を8つ(体づくり、人間性、メンタル、コントロール、キレ、スピード160キロ、変化球、運)記入しました。

| | | | | | | | | |
|-----------------|-----------|------------|-------------|------------|---------------|------------------|----------------------|-----------|
| 体のケア | サプリメントを飲む | 55Q 90kg | インステップ改善 | 非特化 | 膝をぶらさない | 肩を付ける | 上からボールをたたく | リストの強化 |
| 柔軟性 | 体づくり | 85Q 130kg | リリースポイントの固定 | コントロール | 不安をなくす | 力まない | キレ | 下守り主眼 |
| スタミナ | 可動域 | 食事 夜7時 朝3時 | 下駄の強化 | 膝を痛めない | メンタルコントロールをする | ボールを肩でリリース | 回転数アップ | 可動域 |
| はっきりとした目標、目的を持つ | 一番一歩しない | 前は冷静に心は熱く | 体づくり | コントロール | キレ | 痛でまわる | 下駄の強化 | 体幹強化 |
| ピンチに強い | メンタル | 空想力に匹敵しない | メンタル | トラバ | スピード 110km/h | 球速強化 | スピード 160km/h | 肩回りの強化 |
| 運をつくらない | 練習への執念 | 練習を思いやる心 | 人間性 | 運 | 変化球 | 可動域 | ライナーキャッチボール | ピッチングを標準す |
| 個性 | 守られる人間 | 計画性 | あいさつ | ゴミ拾い | 距離そうじ | カウントボールを捨てる | フォーグ完成 | スライダーのキレ |
| 思いやり | 人間性 | 感謝 | 道具を大切に使う | 運 | 目標さんへの敬意 | 速く走るの癖のあるカブ | 変化球 | 投球者への決意 |
| 礼儀 | 信頼される人間 | 継続力 | プラス思考 | 応援される人間になる | 本を読む | ストレートと同じフォームで投げる | ストライクからボールに変わるコントロール | 投球者への決意 |

さらにこれらを達成するための具体的な目標を、それぞれ8つずつ記入したのです。大谷選手は目標達成シートを作成する際、なるべく具体的に、また少し高い目標を書き込むようにしたと話しています。ひとつの大きな目標を達成するために必要な要素を細分化し「叶えたいこと」への道のりを確立した、ともいえるでしょう。

福井中学校のみなさんも、個人目標や学級目標を決め、目標達成に向け取り組んでいるところだと思います。ぜひ、大谷選手の実践を参考にして、自分たちの目標達成や夢の実現に向け、自分で考え1日1日を大切に過ごしてください。

●図書館サポーター紹介

A 先生

図書館サポーターの阿部真奈美です。これからも皆さんが1冊でも多く素敵な本と出会えるよう、お手伝いしていきたいと思えます。よろしくお願い致します。



4月28日全校読み聞かせ

●総合的な学習の時間 (交通安全教室, たけのこ掘り)



●部活動紹介



●参観日

4月29日のPTA参観日には、全生徒の保護者の方にご参加いただき、参観授業、全体会、学年部会等を実施することができました。お忙しいなか、ありがとうございました。



「教科書無償化運動」について

福井中学校人権・いじめ防止委員会

みなさん、小学校・中学校に配布されている教科書の裏に書かれているコメントを読んだことはありますか。それは、「この教科書は、これからの日本を担う皆さんへの期待をこめ、税金によって無償で支給されています。大切に使いましょう。」という文章です。

現在、当たり前のように無償で配布されている教科書は今から60年ほど前に高知県の被差別部落から始まりました。「すべての子どもたちが安心して学習してほしい」という強い思いがあったからこそ、今に受け継がれているのです。

憲法には、「義務教育は、これを無償とする」（日本国憲法26条第2項）とあるのに、値段の高い教科書を買えない家では、兄や姉、また知り合いの子からお下がりやお古の教科書をもって使っていました。その当時1961年代は、1日の賃金が300円でしたが、教科書代が小学校は700円、中学校は1200円でした。また、子どもの数も多かったので、教科書をそろえるだけでも大変なことでした。

そこで、その地区に住む保護者の方たちは、自分たちの生活や仕事、教育をよくしていくために勉強会を開き、憲法を学習したそうです。その中で、憲法26条に「義務教育は、これを無償とする」と書かれていることを知りました。

義務教育は無償なのに、「教科書を買えない子がいたり、買えないことで学校に行けない悲しい思いをする子がいたりするのはおかしい」と気がつき、「教科書をタダで配布する運動」を始め、市や県、国を動かして教科書の無償化が実現しました。そして、1963年度入学の小学1年生にはじまり、1969年度にはすべての小学生・中学生に教科書がタダになりました。

当時の人たちは、憲法をしっかりと学ぶことで差別をなくす運動ができました。今、私たちは学校で教科書を使って様々なことを学びます。私たちも自分たちの権利を守り、差別のない社会をつくるために学校で勉強していきましょう。

教科書の裏に書かれたコメント

この教科書は、これからの日本を担う皆さんへの期待をこめ、税金によって無償で支給されています。大切に使いましょう。

3年 組 番

名前



この教科書は、色覚の個人差を問わず、より多くの人に必要情報が伝わるようデザイン・配色し、NPO法人カラーユニバーサルデザイン機構の認証を受けました。



4月24日、人権・いじめ防止委員会のみなさんが、教科書無償化運動について発表してくれました。